

今こそ声を上げよう「安全保障関連法案」に反対する福生市民の集いへ

福生市議会議員

超党派の共同行動

第2回

7/17(金)

街頭演説会

Pm 6~7時

福生駅西友前

第3回

7/18(土)

「安全保障関連法案」に

反対する市民の集い

Pm 5~7時

扶桑会館

プログラム

(福生駅徒歩7分 一小通り 消防署裏)

- ・各会派の都議・国会議員、市議の挨拶
- ・参加者から思いを発表
- ・うた etc



市民のみなさん、

多数ご参加下さい！

国会審議で憲法違反が明確に！直ちに廃案に

高まる戦争法反対の声

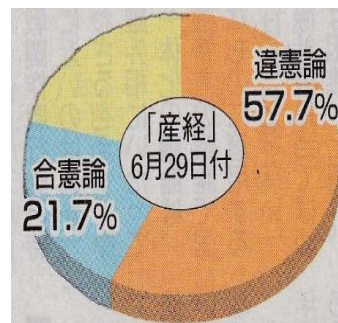
戦争法案を廃案にしよう！の世論は、日に日に高まっています。連日、日本中の津々浦々で「憲法9条まもれ」の声が響いています。憲法9条を生かした平和外交を！の世論がふつと湧いてきています。私たち福生市議会議員有志は、横田基地を抱える福生市民の命と安全を守るためにも、この法案の廃案を求めてまいります。

こうした圧倒的な世論を無視して採決を強行することは、主権者である国民の意思の尊重を大原則とする憲法の主権在民主義を否定するものであり、民主主義と民主政治への乱暴な破壊攻撃です。もはや、政権を担う資格はありません。国会での安倍首相や閣僚の答弁は支離滅裂、ごまかし、矛盾だらけとなっています。憲法違反が明確になった法案は廃案とするしかありません。



憲法9条に違反！国民の5〜6割

憲法9条「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。」今回の法案が憲法9条に違反すると考える国民が、どの世論調査でも、5〜6割と、圧倒的多数なのです。「政府は十分な説明ができていない」は8割を超えています。



採決強行は憲法の主権在民に違反